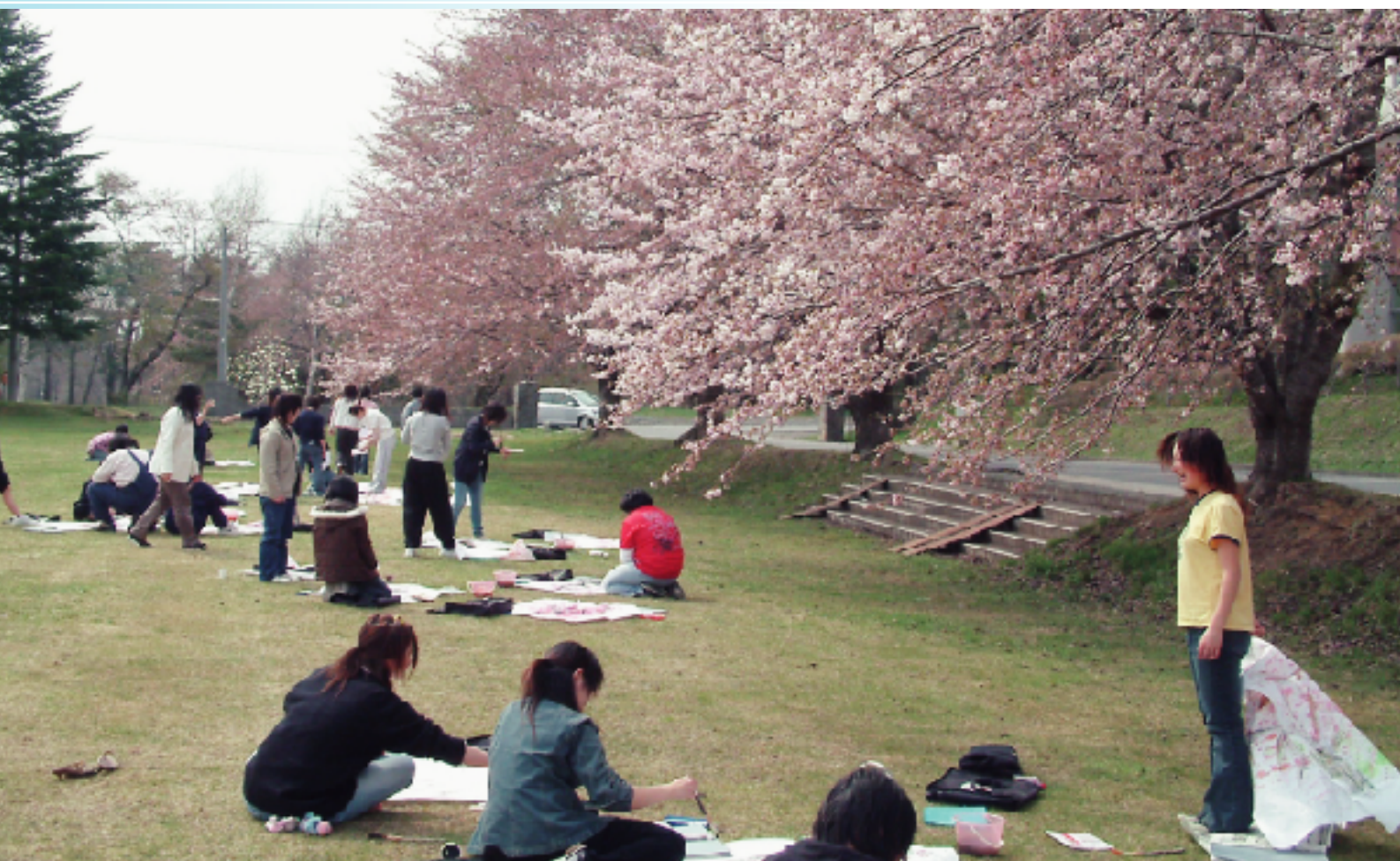


学院

キャンパスだより

創刊号



授業風景：美保野キャンパス（八戸短期大学）

- 人間健康学部2年目
保健体育教員、認定心理士養成も
- コミュニティレストラン「みほの茶屋」OPEN
- 八戸短大 「ライフデザイン学科」スタート
- 光星学院高校 春の選抜甲子園出場
- 野辺地西高校 AEDの設置
- 野辺地工専 2級自動車整備士合格率向上
- 第二しなのめ幼稚園 保育実践

「学院キャンパスだより」 創刊にあたって



理事長 中 村 覚



初代理事長、中村由太郎先生が光星学院を創立して、今年で50年を迎えようとしております。この間、皆様のお陰をもちまして本学院は、大学、短大、専門学校、専攻科、2つの高等学校、6つの幼稚園を持つ学校法人となりました。

既に時代は21世紀に移りましたが、昨今私学を取り巻く環境は、目まぐるしく変化しております。そういう中であって私どもは、常に時代のニーズに対応すべく鋭意努力して参りたいと思っております。また、地域の学校として、より一層開かれた学院を目指していきたいと考えております。

つきましては、この度本学院が創立50年を迎えることを契機に、学院広報誌「学院キャンパスだより」を編集発行し、今まで以上に地域の皆様方に広く本学院の教育活動についてご紹介し、ご理解を深めていただきたいと思っております。

今後とも本学院の教育運営に対しまして、ご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

●●● 聖書の言葉から ●●●

いつも新しい練り粉のままでいられるように、古いパン種をきれいに取り除きなさい。現に、あなたがたはパン種の入っていない者なのです。キリストが、わたしたちの過越の子羊として屠られたからです。だから、古いパン種や悪意と邪惡のパン種を用いなくて、パン種の入っていない、純粋で真実のパンで過越祭を祝おうではありませんか。
(使徒パウロのコリントの教会への手紙5章7節～8節)

ようやく春ですね。春といえば、キリスト教では復活祭を祝います。復活祭は、クリスマスと並ぶ大切な祝日です。上の引用は、復活祭のミサで毎年読まれる聖書の箇所です。パン種、つまり酵

母菌は、パンを膨らませるために欠かせませんが、腐敗させる菌でもあります。聖書でパン種のたとえは、よい意味でも悪い意味でも用いられます。上の箇所は、悪い方の意味です。過越祭はユダヤの民が「出エジプト」を記念した祭で、子羊と種なしパンを食べる日です。キリストは、過越祭の子羊、すなわち人間の罪のために神に捧げられたいけにえとして理解されています。種なしパンを食べることは、悪しき種、すなわち自分の中の古い要素を取り除き、新しく生きることを意味します。復活祭のたびに、心を新たにするためです。

『きかま・こういちろう＝八戸大学ビジネス学部助教授（宗教学・キリスト教概論）』

八戸大学・八戸短期大学入学式挙行

平成18年4月6日(木)に、八戸市公会堂において八戸大学、八戸短期大学の合同入学式が厳かかつ盛大に挙行されました。

当日は、雪交じりの天候でしたが、八戸大学 ビジネス学部76名、人間健康学部85名、八戸短期大学 幼児保育学科102名、ライフデザイン学科20名の合計283名が、美保野キャンパスでの学生生活を誓いました。

式では蛇口浩敬学長が「夢や目標を自ら探り、より充実した学生生活となるよう願います」と式辞を述べ、中村覺理事長、並びに小林眞八戸市長が学生生活への期待と激励の祝辞を述べました。

続いて、八戸短大付属白銀幼稚園のはたなかしゅんすけくんとこむかいみうちゃん、八戸大学人間健康学部2年の市川美井さん、八戸短期大学幼児保育学科2年の青木奈菜さんがそれぞれ歓迎の言葉を述べました。

宣誓は八戸大学ビジネス学部に入学的木村貴仁さん(文星芸術大学附属高校)が「カトリシズムに則った学院の理念に基づき、自らの目標に向かって精進し、向上心を持って勉学にいそしみ、明日の社会の準備に専念したい」と新入生を代表して力強く読み上げました。



八戸大学同窓会大会開催 —全国各地から同窓生集う—



平成18年2月4日(土)、八戸大学同窓会の発足20年を記念する同窓会大会「同窓生交流会」が開催され、全国各地から同窓生・教職員はじめ関係者等120名が参加しました。

開会にあたり、柳町仁同窓会長(1回生)が「同窓会は昭和60年の1回生卒業と同時に発足し、会員も約3800人となった。これからも活動を続け、母校の発展のために寄与したい。今日は学生時代に帰って皆と大いに語り合いたい」と挨拶し、学校法人光星学院の中村覺理事長先生、八戸大学の蛇口浩敬学長先生が開催のよろこびを讃えた。

続いて高橋昌樹幹事長(5回生)が、前回の大会以降5年間の活動報告と記念事業(同窓会文庫の設置と課外活動支援金の寄贈)の紹介を行い、蛇口学長と山口千晴学友会執行委員長(次期)に目録を贈呈した。

また、学生サークル「ネットワークーズ」の早川幸

久君(4年)と佐藤格君(3年)により「大学の近況報告」と題し、30分にわたり大学の近況や自分たちのサークルの活動内容が紹介された。

引き続き行われた同窓生交流会では、学生時代の恩師や級友と思い出話に花が咲き、意義深い会となった。

人間健康学部2年目 保健体育教員、 認定心理士養成も

平成17年度に八戸大学に開設された人間健康学部は2年目に突入した。

昨年着任した8名の教員に加え、今年度は新たに5名の教員が着任。保健体育の教員免許や認定心理士の養成も始まり、少子高齢化や地域社会のニーズに応えるべく教育研究活動を進めていくこととなる。

これまで、保健体育の免許は東北地方の私立大学では宮城県の1校のみという状態が長らく続いていたが、人間健康学部が課程認定を受けたことにより、地元からの強い要請に応えられる体制が整った。さらに、人間健康学部では「認定心理士」の資格取得ができるよう心理学関係の科目を拡充した。認定心理士とは、日本心理学会が認定する資格で、心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的な基礎学力と技能を修得していることが要件である。最終的には超党派議員連盟が国会に法案提出を目指している「医療心理師」の資格取得が可能となる体制を整える前段階としての位置づけであり、今後の国会での議論の推移を見守って対応していくこととなる。

コミュニティレストラン 「みほの茶屋」OPEN

平成18年4月3日、八戸大学会館内の学生ホール(喫茶コーナー)にコミュニティレストラン「みほの茶屋」がオープンした。学生ホールには、かつて市内業者が運営する喫茶コーナーが設置されていたが、7年前に業者が撤退したあとは空きスペースとなっていた。施設の有効活用策と学生達のコミュニティスペースの開設を検討していた本学学生課(現学務課)は、地域間交流研究会「はちのへ農援隊」(NPO申請準備中)などでフィールドワークを展開している学生サークル「ネットワークーズ(Net-Workers)」の学生たちに施設を活用した事業展開を提案。その後、約半年間に渡る検討および準備期間を経て、コミュニティレストランを開設することになった。

コミュニティレストランの運営は、本学学生のほか、「はちのへ農援隊」のメンバーとして活動している主婦グループも参加し行われることになった。レストランでは、「はちのへ農援隊」が推進している「地産地消」、「食育」というポリシーを受け継ぐとともに、青森県三八地域で収穫される農産物を材料に取り入れることにした。レストランで提供している代表的なメ

ニューは次のとおりである。

- ・**こだわりのカレー・サラダ添え (350円)**・・・名川産のりんごをカレーのルーに混ぜ込んだカレーライス。サラダには、田子町産のにんにくを使用したドレッシングがかかる。
- ・**ワンプレートランチ (450円)**・・・日替わりで様々な料理が大きなプレートにのる。
- ・**野菜あんかけうどん (300円)**・・・地域で収穫された野菜入りあんかけをさぬき風うどんにかける。
- ・**日替わり弁当 (500円)**・・・はちのへ農援隊が厳選した食材をつかった弁当。このメニューに限り里山の駅で調理している。
- ・**地産地消サラダ (150円)**・・・地域で収穫された新鮮な野菜をつかったオリジナルサラダ。ドレッシングは数種類の中から選択できる。
- ・**手作りケーキ (180円)**・・・チーズ、チョコレート、セサミ、ヘルシーホワイトから選択できる。ヘルシーホワイトは、豆腐を使った健康志向のケーキである。

このほか、何杯でもおかわりできるコーヒー (200円) やこだわりのコーヒー豆をドリップしたコーヒー (150円)、地元産のフルーツが入ったミルクティ (200円)、りんごストレートジュース (200円) などのドリンク類も用意している。

レストラン開設後、学生、教職員のほか、地域住民の方にもご利用いただいている。「みほの茶屋」では、レストランの営業のほか、管理栄養士や地域の農業生産者による調理講習会や試食会などのイベントの開催も計画している。「みほの茶屋」で運営を担当している佐藤格君 (商学部4年) は、「みほの茶屋の開設は、地元の活性化のほか、大学生のビジネススキルを修得する場にもなる」と述べている。また、調理を担当している農援隊メンバーの黒澤美智子さんは、「ご利用いただく方々の意見を参考にしながらメニューを開発していきたい」と話していた。



***** 新 入 生 対 話 合 宿 *****

毎年恒例の新入生対話合宿が、去る4月20日・21日岩手県田老町のグリーンピア田老を会場として実施された。

この合宿は、新入生相互間ならびに教職員、リーダー学生 (学友会中心の2年から4年) との親睦を図るとともに、大学で学ぶために必要な知識を身につけることを目的としている。一泊二日の限られた時間の

中、新入生たちは施設見学、宮古市田老ゲートボール協会の皆様のご好意によるゲートボール大会 (講習会を含む)、リーダー学生が企画したクラブ・サークルや学友会行事の紹介、またクイズ大会などを通して大いに盛り上がりコミュニケーションを図ることができた。中でも各学部ごとに企画された「カラカラColor」「ノンバーバルコミュニケーション (ジェスチャーゲーム)」では、今までにない多くの学生と教職員のコミュニケーションを可能にし、自分から楽しむという新企画であった。あいにくの雨にもかかわらず、リーダー学生の皆さんが次なる企画遂行のため行動し、誘導を速やかに行ったことがよりよい親睦とコミュニケーションにつながったと実感している。予定されていたウォークラリー大会が中止されたのは残念であったが、「思ったより友達ができてよかった」「先生が親切だった」など有意義な時間を過ごすことができ、これからの大学生活がますます楽しみになったようだ。この対話合宿をきっかけにこれから一生涯の仲間や友達ができること、そして目標や夢を見つけ叶えることを期待している。



Ⓢ プロ野球ドラフト 3年連続指名!! Ⓢ



昨年行われたプロ野球ドラフト会議で、本学野球部の青山浩二投手・内藤雄太外野手の2名が指名を受け、3年連続5人目となるプロ野球選手が誕生した。

本学では過去2年は投手のみの指名であったが、今回内藤雄太外野手が野手として初めての指名を受けた。

東北楽天イーグルスから3巡目で指名を受けた青山投手 (函館工業高出) は最速146キロの直球とキレの



ある多彩な変化球を操る好投手である。北東北リーグ戦では4年間で19勝0敗という好成績を残している。4年時には、春季・秋季リーグ戦でベストナイン賞を受賞する活躍ぶりをみせた。横浜ベイスターズから3巡目で指名を受けた内藤雄太外野手（横浜創学館高出）は、広角に大きい打球を打てる好打者である。大学通算27本塁打を打ち、4年時の全日本大学野球選手権大会では、3試合で2本の本塁打を打つ活躍を見せた。また、全日本大学野球選手権大会での活躍を評価され、日米大学野球大会の日本代表にも選出された（本学では3人目）。大会では持ち前の打力を評価され、全日本の3番に座り、その期待に応え、5試合中、4試合に出場し、16打数9安打の活躍で、大会タイ記録をマークし、首位打者に輝いた。八戸大学会館で行われた記者会見では、多くの報道陣の前で緊張の様子も見せず、堂々と指名後の挨拶をすることができた。青山・内藤ともに上位での指名で即戦力としての期待がかかる。また、両選手とも出身地の球団からの指名なのでファンからの期待も人一倍大きいに違いない。後日行われた球団側からの指名挨拶では、ともに「開幕一軍」を誓い、蛇口学長とスカウトの方々と握手を交わした。それぞれ1年目からチームの柱となってもらい、球団を代表する選手になってくれることを期待している。



「八戸大学」 OB&OG訪問

・はじめに大学時代の思い出を聞かせてください。

大学時代は、自然の中で（美保野の香り...（笑））勉学、部活、バイト、遊びと充実していた思い出があります。特に部活の仲間と鍋、つり、旅行が楽しい思い出です。

・弓道はいつから始めましたか？これまでの成績は？

高校から始めました。高校時代は県の新人戦で2位、他地方の大会で個人2位、団体優勝その他いろいろです。最近では昨年岩手県選手権で2位、射道優秀賞、東北大会7位です。

・卒業後大手の住宅メーカーに勤められましたが、その時代の思い出話を聞かせてください。

初めて一人で契約が決まったときは、すごくうれしかったです。

また、お客様から「福原さんに会えて本当に良かった」と言われたのが印象に残っています。

チーム賞で海外旅行に何度か行かせてもらった楽しい思い出があります。

ただし、テロの影響でアメリカの研修が取りやめもありましたがー。

・昨年教員採用試験を受けて1回で採用となり、釜石商業高校へ。学校や生徒たちの第1印象を教えてください。

小規模の学校ですが、みんな素直でまとまりのある生徒です。いつも笑顔があふれていて、元気な学校です。学校には「虎舞」があります（「学校に行こう」にも出ました）。

・最後に教職員や在学生にメッセージをどうぞ

八戸大学は素晴らしいスタッフと仲間と囲まれている場です。大きな夢に向かって進んでください。応援しています。



トップセールスマンから高校教員に転身した
福原 潮 さん（30歳）

プロフィール

岩手県二戸市出身。福岡高校－八戸大学商学部卒。卒業後大手の住宅メーカーに勤務し年間売り上げ日本一を3度達成（うち社長賞1度）。平成18年4月より岩手県立釜石商業高校教諭。

「ライフデザイン学科スタート」

平成18年4月、八戸短期大学に、既設「現代ビジネス学科」の改組による「ライフデザイン学科」が開設された。

ライフデザイン学科は、日本私立短期大学協会が推奨する「地域総合科学科」にふさわしいものとするべく、現代ビジネス学科の教員スタッフや教育内容をより拡充させて構成されている。多様な価値観や選択肢がある現代の成熟社会は、自らの生き方の「参考にするモデル」が見つげにくい社会であるとも言われる。ライフデザイン学科では、そうした現代社会で、「自



立した個人」として生活していくために共通の価値観と自分独自の価値観を確立し、生活のあり方を全体的に考え、提案していける人材の養成をめざしている。ライフデザインは、漠然と生きるのではなく、人生観、価値観（人生目的や役割・使命など）を明確にして、どうすれば「自分らしく」生きることができるのかを絶えず自分自身に問い続ける発想（力）と行動（力）と身につけ、自分なりの人生計画に沿ったQOL（クオリティ・オブ・ライフ、充実した生活と意義のある人生）を実現することである。そのためにライフデザイン学科では、「これから何をしたいのか」と漠然と抱えている夢や理想を「なりたい自分」に具体化して行動することを学ぶ、資格取得直結型でスパイラルなカリキュラム編成となっている。

平成18年4月6日に入学式が行われ、ライフデザイン学科の第1期生の入学が許可された。4月19日には履修登録もスムーズに行われ、夢や理想に向けスタートした。

「職場で即戦力」とミニ・オペレッタ 幼児保育学科



ミニ・オペレッタは、幼児の行う小歌劇という意味で、大人の歌劇と根本的に違う点は、集団と集団の歌の対話により劇が進行して行く総合芸術表現という点である。保育士を育てる養成校として、学生達が自信を持って職場で活躍出来る“技術・能力”を身に付ける事を目的として、平成14年度から実施して来た。今年も2月に本学付属幼稚園の子ども達を迎え発表会を実施した。

学生達は全てにおいて工夫を凝らし、手作りから仕上げまでの実践活動を行っている。これらが①子供達に受け入れられるか、また、②職場にて胸を張って働けるか、③技術・技能の基礎はこの指導で大丈夫なのか、さらには、④総合芸術としての専門知識・理解力・認識はあるか等々学生達は検討しながら、身体から漲る表現・演出を模索しつつ実践し発表会をした。幸いにも八戸短期大学付属幼稚園が私どもの力強い実

践の場となっており、見学に来ていた園児達の励ましの声により、学生達の行動、表現力に大きな力が加わり、自信に満ちた和がひとつになり力強いエネルギーを発揮することができた。そして、子ども達に受け入れられた達成感・満足感によって、ようやく保育士としての自覚・風格が備わってきたように感じられた。反省点は多々あるものの、創造性・表現力が豊かになり、明日へのエネルギーの源となるであろう成果は目を見張るものであった。

「蕎打ち」実演披露!! 現代ビジネス学科

八戸短期大学現代ビジネス学科（現ライフデザイン学科）2年生畠山千明さんは、春期休業中の3月中旬、六戸にあるディサービスセンターで、2日間に渡りボランティアの「蕎打ち」実演披露を行った。

「私が小学生の頃、大叔母が正月に私の家に来ると蕎打ちをしてくれ、私はそれにとっても興味を持ち、打ち方を教わった。現在蕎打ち歴は10年位になった。

昨年、ディサービスセンターを経営しているお祖母さんの友人から、「蕎打ち」の講師として依頼があった。ゼミ担からは春休みなどの長期休業中は「自分を磨く」期間との助言もあり、引き受けることとなった。

当日は、そば粉、長芋、卵、蕎打ち台や伸ばし棒などを準備し、朝九時頃ディサービスセンターに向かった。

蕎打ちの手順は、

- 一、まず、そば粉、長芋を摺ったもの、卵をボールに入れて、15分くらい捏ねる。
- 二、手のひらの感覚で堅過ぎず、柔らか過ぎずの状態になったら、全体をビニールで包んで、足で何回か踏む（手だけだと堅すぎる場合があるから）。広がったらビニールを広げ、押し固めてからまた包み直し、足で踏むということを10回位繰り返す。
- 三、次に、台に付かないように先にそば粉を撒いておいた、蕎打ちの台に広げ、伸ばし棒を使って、厚さが1～2ミリ位になるまで押し伸ばす。途中、棒に巻き付けて台の上に軽く打ち付ける。この一連の作業を「蕎を打つ」と呼んでいる。
- 四、蕎打ちが終わったら厚焼き卵のように帯状に巻いて、菜切り包丁で幅3ミリ程度に裁断する。
- 五、釜でゆでる作業は、湯を沸かしておいて、それに蕎を入れ、浮いてきたらゆで上がり。最後に水道水で洗い流し完成。

打ちあがったのはお昼近くになり、一人分ずつザルによそって、麺つゆと一緒に配り、皆さんと一緒に試食をした。ディサービスセンターのホールで20人位のお年寄りの前での実演は緊張したが、「若いのに、よくやれるねえ」との声もあり、ちょっと嬉しかった。

就職後も機会があれば「蕎打ち」の実演も行いたい。また、できれば福祉施設など「特技」を活かせる職場に勤めることができればと考えている。



東北大学他、 国公立大学や 有名私立大学に 続々合格！

普通科進学コース

昨年の進学コースは各生徒の進学に対する意識が強く、また、0校時や先生方の熱心な授業のおかげで良い結果を出してくれたと思います。創立以来初めて戸田奈菜子（新郷中）さんが東北大学農学部合格、山谷亮太（長者中）君が、山形大学工学部の中で一番難しい機械システム学科合格、社会科学の分野に実績がある富山大学経済学部には赤坂理（根城中）君が合格、さらには、国内に於いて教育システムに定評がある青森公立大学には百目木政寿（小中野中）君が合格、私大では経済、薬学、看護、水産、獣医、文学、商学、栄養学部などに合格者がでました。この中には部活のキャプテンをしながら勉強した生徒、生徒会活動などに積極的に活動した生徒などの文武両道の学校生活をした生徒もいます。「最後まであきらめず常に前向きに努力」した彼らにエールを送ると共に今後の活躍を期待したいと思います。

✧ 国公立大学合格！ ✧

東北大学、岩手大学、山形大学、
富山大学、青森公立大学

✧ 有名私立大学多数合格！ ✧

東洋大学、玉川大学、桜美林大学、
専修大学、駒沢大学、東北福祉大学、
帝京大学、仙台大学、秋田経法大学 他

やったね！ 春の選抜甲子園出場！！

硬式野球部

過日、行われました第78回選抜高校野球大会に8年ぶりに本校も出場いたしました。今大会で3度目の出場となるわけですが、春の甲子園においては、まだ一度も勝利しておらず、今度こそはという気持ちで大会に臨みました。しかし、大会、直前にエース桑鶴が肩の不調を訴え、チーム全体に嫌なムードが流れました。それでも、必死の治療を行い何とか投げられる状態で



記念飛行写真 3 / 15撮影

試合を迎えることができました。チームの雰囲気も少しずつよい方向に向かい、いよいよゲームが始まりました。不安であった桑鶴も本調子ではないものの粘り強い投球で5回までは、まったくの5分5分の展開でした。

再三のチャンスを我々はものにすることができずに最後まで流れを持って行くことができませんでした。野球は人生と同じで流れが大変重要なスポーツです。その流れを手にするためには、集中力、平常心、自信だと改めて感じました。夏に向けて新たなスタートをしたいと思います。



★ 全国選抜大会出場

女子ソフトテニス部

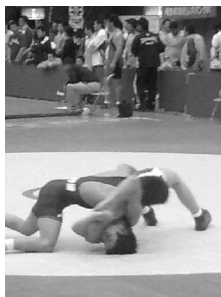
■全国選抜大会に出場して

第31回全国高校選抜ソフトテニス大会が3月29日、30日の日程で名古屋市総合体育館において行われました。この大会には、各ブロックを勝ち抜いた32校が出場しました。本校の初戦の相手は、北海道の第一代表である旭川北都商業高校。全国中学で活躍した選手が多く集まっているだけに苦戦を強いられたがなんとか勝ち2回戦に進出しました。ベスト8をかけての相手は九州代表の鹿児島南高校。昨年もベスト8に入賞している強豪でした。初戦を佐藤・太田組が④-1で快勝。良い流れで2番目の下平・戸川組につながましたが2-④の接戦で敗れ3番勝負となりました。3番目は本校の準エース小関・道端組、相手は3番手のチーム絶対の自信がありました。予定通り2セットをリードし勝ちが見えてきました。だが精神的な弱さか勝ちを意識し受けに入り動きが鈍くなり、結果3-④でベスト8入りは逃しました。優勝は岡山県代表の就実高校でしたが本校にもチャンスがあったと思います。精神面を鍛え夏もう一度挑戦できるように選手一丸となって頑張っております。

レスリング部

■全国選抜大会に出場して

意図的につくったとしてもこれほどの激戦はなかなか想像はつきません。今年にかけて町をあげて幼少時代から作り上げてきた今大会の大本命の京都網野高校、バスケの能代工業はるかにしのぐ常勝茨城霞ヶ浦高校、今年国体を控え昨年度個人王者2名を抱える兵庫育英高校、ここ数年連続ベスト4入りを果たしている東海王者岐南工業、そして十年常に霞ヶ浦と決勝で死闘演じてきた九州王者鹿屋中央高校。「第49回全国高校選抜レスリング大会」、そういうブロックの中に光星学院高校の名前がありました。学校対抗戦初日、連覇中の霞ヶ浦が本命網野に破れました。そして同じくライバル鹿屋中央もまた岐南に敗れ初日に消えました。



翌日ベスト8が出揃ったその1回戦、必死にそしてある意味順当に勝ち進んできた本校は網野との対戦です。作り上げられた「エリート集団」対「雑草集団」の戦いです。結果は3対4で敗れました。だが、1分半もブリッジで耐え抜きその戦いに観客はどよめき、また延長で右脚が骨折しても戦い抜こうとしたその姿に「勝負の世界に生きる研ぎ澄まされた男の美しさ」を見ました。光星に生きる者の魂を見ました。魂が揺さぶられ、負けはしたもののこのチームの監督であることに幸福と誇りを感じました。

空手道部

■8年ぶりの全国選抜大会出場

3月24・25・26日、愛媛県松山市で第25回全国高等学校選抜大会が行われました。県秋季大会において10年ぶりに男子団体組手で優勝し、その勢いで東北選抜大会も3位に入賞することができ全国選抜大会出場の切符を手にすることができました。1回戦は九州ブロック代表の日大長崎でした。先鋒早狩は積極敵に攻撃し7-3でまず1勝。幸先の良いスタートを切りました。次鋒藤井は相手の攻撃に後退し、2-3で惜敗。中堅船水はチームのポイントゲッター、期待の選手。足の指を痛めて実力を十分発揮できなく4-6で負け。背水の陣でもう1敗もできない状態でした。副将松本は上段蹴りが得意な選手です。蹴りも決まって5-4でリードしましたが、終了間際に1ポイント取られ引き分け。大將戦勝てば2-2の内容勝ち。前半果敢に攻撃しポイントをリードしたものの、後半スタミナが切れ逆転され4-6で負けてしまいました。結果は1-3で初戦敗退。まだまだ技術的・体力的・精神的に努力が必要であると実感しました。この貴重な体験を生かし今後の春季大会・高総体で優勝できるように頑張るつもりです。



■ 平成17年度進路状況 ■

17年度は289名の卒業生でした。進路状況は全体で進学者数160名・就職者数107名と進路決定率93%で昨年度を上回る結果でした。進学については、初めて東北大学に合格するという快挙を筆頭に、山形大学、富山大学、岩手大学、青森公立大学など、昨年に引き続き国公立大学の合格者を出し、成果をあげました。私立大学も専修大学、東洋大学、東北福祉大学、玉川大学、駒沢大学など枚挙に遑がありません。八戸短期大学（幼児保育学科・ライフデザイン学科）などの短期大学や光星学院専攻科（自動車科・介護福祉科）への進学率は八割を超えました。

就職についても、厳しい雇用状況の中で大いに健闘

し、苦戦が予想された県内就職でも、八戸グランドホテル、太平洋金属など地元就職も増えました。県外就職は依然として首都圏に集中していますが、栃木や茨城などの周辺の県も伸びているというのが、今年の特徴です。県内外あわせた就職決定率において、昨年を10%近くも上回り今年度も期待をよせています。

ただ、「特定の地域の、特定の仕事」と、条件を限定しての就職活動は、困難さを伴うのも現況です。

就職は、自分の適性や希望を大事にしつつ、「必要としている度合いが強い地域、職種を選ぶ」事がポイントです。

	卒業生数	進 学			進学計	就 職		就職計	未就職者	その他
		大 学	短 大	専修学校		県 内	県 外			
男 子	171	39	4	45	88	43	28	71	4	8
女 子	118	17	22	33	72	25	11	36	1	9
計	289	56	26	78	160	68	39	107	5	17

進路指導部長 畑 中 裕 章



光星学院高等学校は**進学**にも**就職**にも有利！
夢や目標によって**学科・コース**を選べます。

普 通 科

■進学コース

- 光星学院高等学校の進学率は県内トップクラス。上級学校をを狙うなら「特別進学クラス」ゼロ校時から補習授業までじっくり学習に取り組むことができます。

■総合学習コース

- 硬式野球部員だけの特別なコースです。甲子園を目指すだけでなく、文武両道で大学進学を目指します。

ビジネス科

■ビジネスコース

- 高度情報化の時代、大量の情報の中で何が必要なのかをしっかりと選択することが大事になっています。その中で道具であるコンピュータを「正確かつ迅速に使いこなす」を目標に学習します。国家資格や検定取得に向けての指導を行い、即戦力を養成します。

工業技術科

■自動車整備士コース

- 各種の資格に支えられ、確かな技術を身につけた自動車整備士を養成します。

■機電制御コース

- 「IT社会」を土台で支える専門技術に精通した技術者をめざします。

■建築コース

- 建築に関わる知識と技術を身につけた創造性豊かな技術者を養成します。

保育福祉科

■保育コース

- 幼児教育の基本は子供好き。専門知識と技術と豊かな心を磨きます。
- 系列の幼稚園での実習があります。

■福祉コース

- 高齢社会における知識や技術はもちろん、敬愛や奉仕の心までも含めて学びます。
- 福祉関連施設での実習があります。

新たなスタート！

平成十八年度

入学式挙行



春とはいえ、まだ肌寒い4月8日(土)、本校体育館において133名の新生を迎えて平成18年度入学式が挙行されました。新しい公立入試の導入との関係から例年にもまして各高校の入学者が注目を集める中、前年に比べて25名増の入学者を数えました。系列ごとの入学者は、産業技術系列の工業系が34名、オートメカニク系が39名、人間福祉系列が39名、教養進学系列が21名とそれぞれ将来に目標をもった入学生でした。

入学式において、斉藤弘実学校長は「学ぶ姿勢」や「目標を持つこと」を大切と訓示し、新たなスタートについて新生に高校生活への期待を表わしました。中村理事長はじめ、亀田道隆野辺地町町長・甲地恭人PTA会長から励ましの言葉を頂き、新生は緊張の表情で真剣に話に傾けていました。

全校で学ぶ救命講習

～AEDの設置～

本校では、全校あげて救命講習の学習に取り組んできました。その結果全校生徒が上級救命講習と普通救命講習のいずれかを受講し、更にAED講習もあわせて実施し、ほぼ全員が講習を修了しました。また教職員も同じく救命講習・AED講習を修了しました。AEDとは自動体外式除細動器のことで、器械から流れ



る音声にしたがって救命を進めるもので、今回の救命講習を契機として本校事務室に常設の形となりました。

全国的にも、また県内においても、まだ救命講習やAED設置が普及していない中、野辺地西高校は先駆けとして実施・設置に踏み切ったのでした。

本校では生徒の資格取得を奨励しており、卒業までに全員が何らかの資格を取得することを目標に指導しており、その一環として進めてきたものでした。今後更に研修機会を増やして積極的に技能向上に努めていきたいと考えています。

頂点を目指して ～王座までもう一歩～

JOCジュニアオリンピックカップ

レスリングで準優勝 2名！



4月22日(土)～4月23日(日)に横浜市で行われた「JOCジュニアオリンピックカップ 2006年度全日本ジュニアレスリング選手権」において、男子カデットの部に本校から出場した58kg級・2年清水目聖君(野辺地中出身)と100kg級・3年大谷和平君(青森市立佃中出身)の2人の選手がともに準優勝の成績を納めました。

この大会は全国ブロック大会ベスト4の入賞者が参加し、各階級とも各県から1名ずつしか出場できない全国大会でした。総勢1100名余の大会規模で、各階級とも40数名が戦うトーナメントを両名とも順調に戦い抜き、決勝に駒を進めました。

監督の穴戸教諭は「2人とも高校からレスリングを始めました。冬場の練習をしっかりとこなしてきたので、力負けせずしっかりと戦えました。ここまで来たら優勝と期待しましたが、惜しくも達成できず残念です。8月のインターハイでの優勝を目指して鍛え直します。」と述べていました。

インターハイの県予選・全国大会への弾みのつく成果を挙げ、チーム全体の士気も一気に高まってきました。個人はもちろん団体戦も含めて、野辺地西高校レスリング部の活躍に期待したいと思います。

光星学院専攻科入学式 資格取得へ第一歩



決意を新たに入学式に臨む新入生

光星学院専攻科の平成18年度入学式が4月10日、学生会館で行われ自動車整備士、介護福祉士を志す新入生62名が第一歩を踏み出した。

入学式では、新入生の名前が一人一人読み上げられ、山西校長が入学の許可を宣言。新入生を代表して小茅生理沙さん（光星高校卒）が「学生の本分を全うし、2級自動車整備士、介護福祉士の資格を取得し、スペシャリストとして社会に貢献することを誓います」と宣誓した。

続いて山西校長が式辞を述べ、「本校の高い技術の習得と、本学院の愛と奉仕の教育理念に触れ、社会に貢献できる人間になってくれることを期待します」と激励した。

新入生は今後2年間学習に励み介護福祉科は卒業と同時に介護福祉士の資格が得られる。自動車科は2級自動車整備士の実技試験が免除となる。

2級自動車整備士合格率向上で喜び の光星学院野辺地工学専門学校！

今年の4月初旬、平成17年度卒業生の自動車国家資格試験（2級自動車整備士）の結果発表がありました。今年の合格率は81%で例年に比べて一段と向上した結果であり、全校挙げて喜びあいました。

本校の目標は、第一に「2級自動車整備士」の資格取得を掲げておりますが、この資格は「2級ガソリン自動車整備士」と「2級ディーゼル自動車整備士」の2種類となっていて、今回の結果はこのどちらも高い合格率でした。これは、教職員の指導に対する熱意はもちろんですが、学生のモチベーションの高さと惜しまぬ努力の成果であった。

また、就職状況については非常に良好で需要に追いつかない状況です。年度が変わっても求人要請の連絡がありますが、今年の学生に紹介しているのが現状です。卒業生からも資格を活かし職場で頑張っている報告が時々あり、企業との連携も深まってきました。

今年度の資格取得の成果を踏まえ、来年には100%の合格を目指し全校あげて取り組みたいと思っています。



総合研究所だより (1)

八戸大学・短期大学総合研究所は大学・短期大学の地域社会への窓口として、設立以来、多方面に亘りその使命を果たしてきているが、具体的には大学或いは短期大学という高等教育機関としての知識集積を広く地域に還元しつつ、一方では地域に生きる大学として地域住民と一体になって地域貢献に向けての活動がその役割であるとの認識のもとに日々の活動が続けている。その活動状況はこれからこの小冊子を通じて順次紹介していこうと思うが、今回はその規定に定める研究所の目的について列記しておこう。規定では次のように3項目さだめてある。(1) 地域をとりまく諸課題についてグローバルな視点から探求し、学術の振興および地域の発展に貢献する。(2) 情報技術の研究を通じ、本学ならびに学校法人光星学院の教育および研究の充実向上をはかる。(3) 地域および本法人内各施設ならびに学生に対する、教育・啓蒙・支援活動等により、その水準向上に資する。

＝ 訃 報 ＝



八戸大学名誉学長（第2代学長）、小山内時雄先生は、平成18年3月27日午後5時45分逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

先生は、東京帝国大学文学部国文学科を卒業後、弘前大学教授等を務め、定年退官本学開学と同時に教授として着任されました。

昭和59年より学長代行、翌60年に学長・光星学院理事に就任、開学間もない八戸大学2代目の学長として、新設大学の管理運営と整備拡充に貢献され、入学定員増の申請、全国の私立大学で初めてとなる「大学入試センター試験」の導入などを行いました。

また、郷土作家研究の第一人者であり、数多くの著書や論文を執筆され、近代文学・近代作家の研究に確固たる基盤を築かれました。その一環として平成2年の八戸大学開学10周年の際には、記念事業として自らが撮影した「八戸市の文学碑展」を開催しました。

勲三等旭日中綬章、地域文化功労者（文部大臣表彰）、青森県褒賞等受賞。

第二しののめ幼稚園保育実践

美術教育専門誌「教育美術」に依頼され異例の8頁で全国紹介されたものです。年間活動を考え、年中組担任に執筆してもらいました。これはその1頁です。

保育実践

のびのび・ぐんぐん 造形教育三系論を軸に



「のびのび・ぐんぐん」は、造形教育三系論を軸に、年中組の子どもたちが、自分の思いを自由に表現し、創造力を伸ばすための活動です。この活動は、子どもたちの興味・関心を引き出し、自己表現の機会を提供しています。

八戸短期大学付属第二しののめ幼稚園 年中（うさぎ）組担任 小泉 智美

「先生！今日面白かったね！」「あしたまたね」「先生だ～い好き」

私は今、降園時さよならの挨拶と共に出るこんな子どもたちの声に励まされ、毎日を楽しんでいます。

2年めの子に新園児が混じり、やや混乱するのは年中組4月の常ですから。

全員が打ち解け、どの子も今日を喜び、明日への期待に燃えて降園する姿への変容に触れることは、担任としてとても嬉しいことです。明日への準備にも夢が膨らみ、意欲が増してきます。

八戸短期大学付属第二しののめ幼稚園

年中（うさぎ）組担任 小泉 智美

内容のタイトルだけ紹介します。（7月までの実践、H18年1月号掲載）

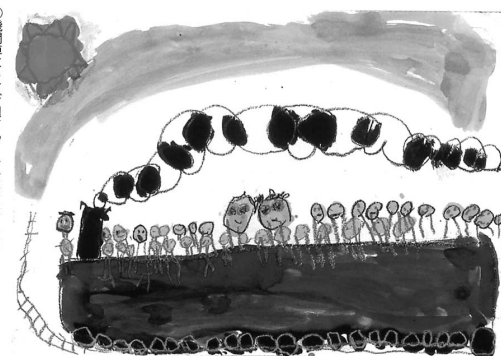
- ◆円形カリキュラムの実践
- ◆造形教育三系論に立つ教育
- ◆季節と園行事が育む豊かな子
- ◎じゃがいも植えと伝統行事
- ◎最大イベント運動会
- ◎夢を乗せて走るでごいち君
- ◎じゃがいもほり
- ◆行事連山の縦走で育つ子

平成18年二月号掲載「全国教美特選集」より

大きな機関車見たんだよ。うさぎ組さんみんなで乗ってお空飛んでるところを描きました。37人のお友達と先生を描くのが少し大変だったけど頑張ったよ。（石山隆希）

園外保育での楽しかった事の話し合いから、子ども達の夢はどんどんふくらみました。たかき君は、自分の想いを伝えながら、喜んで、ぐいぐいと描いてくれました。描きあげた時の満足感いっぱいの笑顔が印象に残っています。これからも絵を通しての表現活動の楽しさを十分味わえるよう援助していきたいです。

③機関車にうさぎ組さん みんなで乗りたい
青森県八戸短期大学付属第二しののめ幼稚園
5歳 石山隆希 指導 小泉智美



掲載絵は幼児～中3特選から更に選抜。

「機関車にうさぎ組さん みんなで乗りたい」

八戸短期大学付属第二しののめ幼稚園

5歳 石山隆希 指導/小泉智美

八戸短期大学付属第二しののめ幼稚園 特選者

いしやまたかき たぐちゆうせい おおくぼなおき
やまもとちかい あとむらじょう



園は勿論、園庭も常に子供の楽園。更にお迎えのお母さん方の「ママ友交流」の楽園

のびのび すくすく 春らんまん — びわの幼稚園 —

日陰にはまだ雪が残っているものの、野草は花開き、若芽が萌える木々に小鳥がさえずり、枇杷野は今まさに春一色。鳥帽子岳に抱かれ、遠くに下北半島に見える陸奥湾をのぞむ地に建つ「びわの幼稚園」は、素晴らしい自然環境の中で新年度のスタートを切りました。



特筆すべきは4月30日(日)に行われた青森県消防協会上十三支部北部上北地区協議会連合観閲式。野辺地町、横浜町、六カ所村の持ち回りで毎年開催されるこの行事。今年は野辺地町の当番で、びわの幼稚園幼年消防クラブに参加要請がありました。会場の野辺地町運動公園にはご来賓をはじめとして三町村からたくさんの団体や見物の方々が参集し、次第に沿って進められました。

いよいよびわの幼稚園の出番です。幼年消防クラブ員として見事にポンプ操法を披露。続いて防火の誓いをかわいい声で高らかに述べました。あどけないながらも堂々とした子どもたちの姿に、満場からは大きな拍手をいただきました。この日のために練習を重ねてきた子どもたちは得意満面。保護者の方々と、指導に当たった先生方は、大役を果たし終えてほっとした表情を見せていました。

びわの子どもたちは元気いっぱいです!!



学校法人光星学院

〒031-8566 青森県八戸市美保野13-98

TEL:0178-30-1411 (代)

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>



八戸大学

〒031-8588 青森県八戸市美保野13-98

TEL:0178-25-2711

<http://www.hachinohe-u.ac.jp/>



八戸短期大学

〒031-0844 青森県八戸市美保野13-384

TEL:0178-25-4411

<http://www.hachinohe-u.ac.jp/>



八戸大学・八戸短期大学総合研究所

〒031-8566 青森県八戸市美保野13-98

TEL:0178-25-2729

市内オフィス TEL:0178-73-3344

<http://research.hachinohe-u.ac.jp/>



八戸大学・八戸短期大学図書館

〒031-8566 青森県八戸市美保野13-98

TEL:0178-30-1695

<http://lib.hachinohe-u.ac.jp/>



光星学院高等学校

〒031-8507 青森県八戸市湊高台6-14-5

TEL:0178-33-4151

<http://www.jomon.ne.jp/~kosei05/>



光星学院野辺地西高等学校

〒039-3156 青森県上北郡野辺地町枇杷野51-6

TEL:0175-64-4166

<http://www.jomon.ne.jp/~nishikou/>



光星学院専攻科

〒031-0844 青森県八戸市美保野13-117

TEL:0178-25-6322

<http://www.jomon.ne.jp/~kosei05/postgraduate/>



野辺地工学専門学校

〒039-3156 青森県上北郡野辺地町字枇杷野51-5

TEL:0178-64-1501

<http://www.hi-net.ne.jp/nksen01/>



しのめ幼稚園

〒031-8507 青森県八戸市湊高台6丁目14-5

TEL:0178-34-5765

<http://www.jomon.ne.jp/~hosinoko/sinome/>



多賀台幼稚園

〒031-2242 青森県八戸市多賀台3-1-4

TEL:0178-52-3469

<http://www.jomon.ne.jp/~hosinoko/tagadai/>



白銀幼稚園

〒031-0833 青森県八戸市大久保生平43-2

TEL:0178-33-7150

<http://www.jomon.ne.jp/~hosinoko/sirogane/>



聖アンナ幼稚園

〒031-0804 青森県八戸市青葉3丁目23-7

TEL:0178-45-3670

<http://www.jomon.ne.jp/~hosinoko/seianna/>



びわの幼稚園

〒039-3156 青森県上北郡野辺地町枇杷野51-5

TEL:0175-64-1938

<http://www.jomon.ne.jp/~hosinoko/biwano/>



第二しのめ幼稚園

〒031-0813 青森県八戸市新井田字小久保尻1-51

TEL:0178-25-2488

<http://www.jomon.ne.jp/~hosinoko/2sinome/>

学院キャンパスだより 創刊号

発行 学校法人 光 星 学 院

編集 学院広報編集委員会

〒031-8566 青森県八戸市美保野13-98

TEL 0178-30-1411

FAX 0178-30-1422

URL <http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>